

【普通科】 1 年次 【必修】 科目 「国語総合(現代文)」 授業のシラバス

1 概要

教科名	国語	科目名	国語総合(現代文)	単位数(コマ数)	2 単位 (98コマ)
科目の目標	1.国語を的確に理解する能力を育成する。2.思考力と感性を高め、自ら考え表現する態度を養い、伝え合う力を高める。 3.言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。				
教科書(出版社)	高等学校改訂版国語総合 (第一学習社)	副教材(出版社)	パスワード級別漢字(浜島書店) ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)		

2 学習の方法

(1) 予習について

国語、特に現代文はまず読むことが大切です。授業で扱う文章は事前に最低 3 回は読んでほしいと思います。次に、難しい語句や漢字については、意味を調べておくことが読解力の向上には欠かせません。言葉の意味をたくさん知ることは、思考力の基盤となる知識の蓄積となります。生きるとは思考することです。よりよく生きるために、豊かな思考力を身につける、高校の勉強の最大の目標がそこにあるのではないかと思います。最後に、毎時間漢字テストがありますので、テスト範囲を予習してください。

(2) 授業について

国語は、みなさんが普段使っている日本語で勉強する教科です。しかし、日本語の授業ではありません。国語の授業は、日本語で書かれた文章を正しく理解し、その理解した内容を知識として活かし、活用する力を養うものです。「作者は何を私たちに訴えているのか。」「何を知らせようとしているのか。」「何を分かってもらおうとしているのか。」などということ私たちは、文章を読みながら理解していきます。それを「読解」と言います。授業では、「作者はこう考えているけれども、君たちはどうか。」と、必ず聞きます。君たちは次のように答えられるように勉強しなければなりません。「作者の意見はこうだと思います。私はこれについてはこう考えます。なぜなら、これについてわたしはこれまで学んできたことからこう考えるからです。例えば、・・・」国語力とは思考する力そのものを言います。物事をしっかりと考える。そして行動する。人間の基盤となるのが国語の力と言っても過言ではありません。

1 時間、1 時間の授業を大切にしましょう。無駄な勉強は一つもありません。自分という人間を豊かにするために日々学び、日々成長しましょう。

(3) 復習について

週に2時間しかない授業ですので、勉強している内容を忘れないためにも復習はもちろん大切ですが、もっと大切なことは国語の勉強を通して、授業で扱う様々な分野について、興味を引いた分野の文章を読んでみることです。授業を通して、読書の習慣を身につけることが、学力向上の一番の早道だと考えます。また、その日やった授業の流れを教科書やノートまたはプリントを見返しながら、頭の中で思い描いてみることも、知識を整理する上で、大切なことです。知識は整理され、統合する必要があります。以上のことから、勉強で最も大切なことは後始末をしっかりとやる、「復習」をすることだと言えます。

〈学習アドバイス〉

国語の力は日常生活で養って行くことが大切だと思います。読書をしたり、新聞を読んだり、映画やテレビドラマなどを視聴したりしながら、語彙力を高め、言葉を豊富にし、表現力を豊かにしていくことが国語力の養成だと考えます。教科書だけを読んでいても国語の力は身につけません。言葉の力を意識しながら、文章を読んだり、ものを見たり聞いたりすることが大切です。今自分の使っている言葉が、しっかりと相手に伝わっているのかを意識してみましょう。また、相手の言っていることがしっかりと理解できているかを確かめましょう。国語力は日常の生活の向上のためにあると思います、意識的な「学び」を心掛けてみてはどうでしょうか。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	日本語や言語文化に対する関心を高め、国語力の向上を図ることができたか。
② 話す聞く能力	筋道を立てて話したり正確に人の話を聞き取ったりすることができたか。
③ 書く能力	目的に応じて、適切に文章を書くことができたか。
④ 読む能力	様々な文章を表現に即して正確に読み取ることができたか。
⑤ 知識・理解	表現と理解に必要な知識を身につけているか。

(2) 評価の方法（以下観点①～⑤は「(1) 評価の観点」と対応する）

評価材料		定期考査・確認テスト 実力テスト		漢字テスト	授業ノート・プリント	発問・指名読み	読後感想文	意見発表・スピーチ	グループワーク
観 点	割合								
① 関心・意欲・態度	20%	△	単元で扱った内容が、日常での生活で活かされたり、関係したりした場面や経験を問う問題。	◎	◎	○			○
② 話す聞く能力	10%					○		◎	○
③ 書く能力	10%	○	単元で扱った語彙を用いて文章を作成する短文作成問題。		○		◎		○
④ 読む能力	40%	◎	単元の内容が正しく理解されているかどうかを問う読解問題。			◎	○		○
⑤ 知識・理解	20%	◎	単元で扱った国語の基礎的知識や理解力を問う漢字の書き取り、読み、意味を問う問題。	○		◎			○

〈担当者からのメッセージ〉

評価は日常の学習の取組がどのくらいできているかを判断します。提出物は日頃からしっかりと準備しておけば全員ができることです。そのような誰もができていくことが評価の基本となりますので、日々の学習の取組をしっかりとしましょう。今やれることは今やる。決して後回しにしない気持ちをもって学習に取り組んでください。

【普通科】 1 年次 【必修】 科目 「国語総合(現代文)」 授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	随想（一）	5	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、筆者の思考と主張を理解する。	① ④	（年間を通じて授業内容に関心を持ち、意欲的に取り組み、参加する姿勢を見せることができる。） 文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、筆者の思考と主張を読み取ることができる。	自己紹介スピーチ 漢字小テスト（毎時間）
	評論（一）	10	具体的なものから抽象的なものに進む論理の展開を理解し、筆者の思考と主張を的確に理解する。	④ ⑤ ③	筆者の論の展開と主張を読み取ることができる。 文化の違いによるものの捉え方の違いについて理解できる。 東洋と西洋の文化の違いについて、自分の意見を的確に書くことができる。	前期中間考査 ノート提出
5	小説（一）	12	登場人物の心理的動きを理解し、象徴的な表現も含めて、正確に内容を読み取り、名文を味わう。	④ ⑤ ③	作中の人物の置かれている状況や心情の変化を的確に読み取ることができる。 作者と作品について理解できる。 作品の内容を踏まえながらテーマに沿った文章を書くことができる。	
	評論（二）	10	文章の内容を叙述や構成に即して的確に読み取る。	④ ④ ③	論の展開に即して筆者のものの見方や考え方を正確に読み取ることができる。 抽象的な思考について、論理展開をたどって的確に読み取ることができる。 本文の要旨を的確にまとめて書くことができる。	
6	詩	5	詩の多様な表現を理解し、詩人の感性と詩の内容を読み味わう。	④ ③	詩の内容を表現に即して的確に読み取ることができる。 意見や感想を適切に伝え合うことができる。	休業明け実力テスト
	随想（二）	5	表現の工夫に注目して文章を理解する。	④ ③	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、筆者の思考と主張を読み取ることができる。 自分の意見や感想を適切に書くことができる。	
7	小説（二）	10	表現に即して文学的な文章を読み味わう。	④ ④	作品に描かれた人物像や情景等を表現に即して正確に読み取ることができる。 作品に込められた心情を、表現を手がかりに読み取ることができる。	前期期末考査 ノート提出
	漢字検定に向けて	2	語句、語彙、熟語、漢字等を理解し、身につける。	⑤	漢字検定に必要な知識や自己の到達度を把握し、漢字知識を身につけ、正しく書くことができる。	
8	短歌と俳句	5	短歌と俳句の多様な表現を理解し、内容を読み味わう。	④ ⑤ ②	各短歌と俳句の内容を的確に読み取ることができる。 それぞれの作者と作品について理解できる。 意見や感想を適切に伝え合うことができる。	漢字検定 （任意だが推奨）
	評論（三）	10	語句を正確に把握し、論理の展開をたどって、筆者の主張を的確に読み取る。	④ ⑤ ③	論の展開に即して筆者のものの見方や考え方を正確に読み取ることができる。 思想や文化のあり方について理解できる。 自分の考えを的確に書くことができる。	後期中間考査
9	小説（三）	12	文学的文章を表現に即して的確に読み味わう。	④ ④ ⑤	作品に描かれた人物像や情景等を表現に即して正確に読み取ることができる。 文中の表現を読み味わい、「私」の心情の変化を読み取ることができる。 作者と作品について理解できる。	
	評論（四）	7	語句を正確に把握し論理の展開をたどって、筆者の主張を的確に読み取る。	④ ⑤ ③	論の展開に即して筆者のものの見方や考え方を正確に読み取ることができる。 地球環境という現代的な課題を的確に理解できる。 自分の考えを的確に表現することができる。	休業明け実力テスト
10	情報探索の方法と実践	5	テーマを定めて情報を探索し、調べたことに基づいて発表する。	④ ②	テーマについて調べたことを的確に理解し、まとめることができる。 まとめと資料に基づいて、調査結果を発表を通じて伝え合うことができる。	後期期末考査
		計 98				

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は話す聞く能力、③は書く能力、④は読む能力、⑤は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。